

東京言語研究所

2014年度第1回公開講座

東京言語研究所では、広い視野からことばを考えることを目的として、年3回公開講座を開催しています。毎回、ことばとかかわりを持つさまざまな分野の第一線で活躍する方々を講師としてお迎えします。

今回は、下記の要領で2014年度第1回公開講座を開催いたします。奮ってご参加ください。

＜演題＞『前頭葉における言語機能』

＜講師＞梅田 聡 氏(慶應義塾大学文学部教授)

＜日時＞2014年6月28日(土) 14:00～17:00

＜会場＞東京言語研究所 (新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル13階)

＜参加費＞一般 1,500 円 学生 1,000 円(当日学生証提示)

(*2014年度理論言語学講座受講生は500円)

※ 参加費は当日現金でお支払いください。

＜申込み＞ホームページ申込みフォームもしくはFAXで下記をご連絡下さい。定数:60名

- ① 公開講座受講希望
- ② 氏名
- ③ フリガナ
- ④ 性別
- ⑤ 住所
- ⑥ 電話番号
- ⑦ Eメールアドレス
- ⑧ 区分 (2014年度理論言語学講座受講生・一般・学生)
- ⑨ 所属 (大学生・大学院生・教員・会社員・その他)

(上記情報は東京言語研究所事業以外には一切使用いたしません。)

＜講師紹介＞

慶應義塾大学社会学研究科博士課程修了。博士(心理学)。

現在、慶應義塾大学文学部心理学専攻、教授。主な研究分野は、認知神経科学。

記憶や言語などの神経メカニズムについての研究を進めるとともに、情動や社会性の実現に「脳・心・身体」がどのように関与しているかを探っている。

著書に、『「あつ、忘れてた」はなぜ起こる: 心理学と脳科学からせまる (岩波書店)』、

「境界知のダイナミズム (共著, 岩波書店)」、 「し忘れの脳内メカニズム (単著, 北大路書房)」

などがある。

問合せ先 公益財団法人 ラボ国際交流センター 東京言語研究所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階

TEL:03-5324-3420

FAX:03-5324-3427 ホームページ:<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

【講義要旨】

人間の言語機能がどのような脳内メカニズムに基づいているかについては、近年の当該分野の研究からさまざまな事実が明らかにされており、失語症などの臨床症状との関連性についても理解が深められている。これまでの研究から、ブローカ領域などの前頭葉における部位が、比較的な単純な発話機能に関わりがあることなどは知られているものの、発話しようとする内容の記憶、複雑な意味内容の理解、効率的な言い回しを可能にする脳内メカニズムなどについては、未だ十分に明らかにされていない。これらのメカニズムを解明するためには、前頭葉そのものがどのような機能を持っているかについて理解しておく必要がある。そこで本講演では、これらの問題に関わる最近の研究成果をもとに、言語運用を可能にする脳の機能について深く考える。

『ことばの宇宙への旅立ち—10代からの言語学』大津由紀雄編 好評発売中

第一線で活躍する言語学者自身の研究の紹介や言語学を志すきっかけなどのエピソードが盛り込まれています。発行：東京言語研究所／発売：ひつじ書房



書店にない場合は直接研究所にご注文ください。